

## ④被災地域の再生・活性化に向けた取組み

### 日本赤十字と連携した地域の救命救急拠点 (石巻赤十字病院) の整備

(三菱東京UFJ銀行)

#### 【概要】

石巻赤十字病院は石巻医療圏において災害拠点病院となる地域の重要な医療拠点。三菱東京UFJ銀行は、同病院の既存病棟敷地内に救命救急センター等の整備に必要な資金の融資を実施。被災地の復興に重要な地域の医療体制の整備に貢献。

#### 背景と経緯

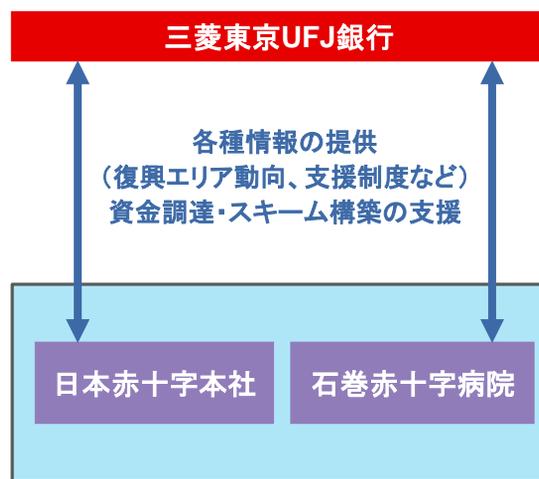
東日本大震災発生時に人命救助に対応すべき病院のうち、沿岸部に立地していた石巻市立病院と雄勝病院は、津波の甚大な被害により病院機能が低下したため、石巻赤十字病院に患者が集中する事態となり、多くの被災者に困難を強いる結果となった。これを改善する為、地域医療の復興や災害拠点病院の機能の強化に向けた取組みを推進し、高度・急性期医療の提供体制の強化に向けた支援を進めるために救命救急センター等を整備することとした。

#### 具体的な取組

三菱東京UFJ銀行は、現地の復興の状況や各種の補助施策の活用等を考慮した資金調達・プロジェクトのスキームを策定し提案した。プロジェクトは、石巻市復興推進計画と整合性を図りつつ、石巻赤十字病院に加え全国組織である日本赤十字本社とも連携しながら進め、平成25年にファイナンス実施した（投資規模130億円）。なお、プロジェクトでは復興特区利子補給金制度を活用している。

#### 【整備する病棟等の基本機能】

- 救命救急センターの拡充
- ICU等の重症治療室の新設
- 手術室の増設
- 災害時用の情報通信設備、生活必需基盤、備蓄倉庫等の確保
- 高度・急性期医療の提供体制の整備
- 消化器疾患領域に対する診察機能の充足
- PFM等による患者支援機能の充実
- 災害医療研修センターの設置、看護専門学校の再建



スキーム図

## 取組の成果

こうした取組によってプロジェクトは順調に進捗し、病院増築棟（北棟）、災害医療研修センター建設、既存棟改修の工事を開始。平成27年3月に災害医療研修センター、平成27年7月に病院増築棟（北棟）が完成した（平成28年8月竣工予定）。

石巻赤十字病院の整備は、震災によって失われた石巻医療圏の医療体制の立て直しにつながるものである。また、施設整備に伴い、150名の雇用維持や雇用の創出が図られることから、地域の復興の円滑かつ迅速な推進と地域経済の活力再生に大きく寄与するものである。

### 【整備規模】

- 敷地拡張（拡張面積）：約13,000㎡
- 病院増築棟（北棟）：延床面積 約15,000㎡
- 災害医療研修センター（延床面積）：約6,000㎡
- 改修面積：約3,000㎡



写真 完成した病院の外観・内観

## 今後の課題

高齢化社会の進展と共に、ますます医療や介護の需要が増してゆくことが予想されており、医療、介護、予防を踏まえた医療福祉サービスネットワークの再構築は、被災地の各地でなお道半ばとみられ、今後も様々な整備の需要が予想される。三菱東京UFJ銀行では、これらの課題に対応できるよう、資金供給の相談に引き続き応じていく方針である。こうした取組を通じて、産業面のみならず、各地の地域の人々の暮らしを支え、地域の活力向上に貢献していく。



### Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

**支援実施のポイント①** 銀行本部と現地拠点で連携した相談への対応

**支援実施のポイント②** ニーズに即した支援メニュー・スキームの提供

**支援実施のポイント③** 被災地内外の関係者を結んだ大規模プロジェクトの組成